

# Qrino®

Automotive Sound System

## Qrinoブランドその開発概念

カーオーディオ用スピーカー製品と、ホーム用スピーカー製品の最も違うところは、ホームスピーカーが完成品なのに対し、カー用はユニット販売であることです。カー用スピーカーでは、ツイーターやウーファーの設置されるポジションは車により異なり、ウーファーの取り付け状態によっても再生できる性能にばらつきが生じます。

この環境で音決めをすることは、大変困難と言えます。つまり程々のまとまりで良しとするか、徹底的に追い込むのかで、再生音は大きく変わっていきます。車載用セパレートスピーカーシステムの音源を一点に集約したい。そんな想いからQrinoのスピーカー開発はスタートしました。

音源を一点化する為には、同軸スピーカーや仮想同軸などのユニットポジションが有効ですが、車の中では非常に困難で取り付けの制限を考えるとポジションで発想する限界があります。

2ウェイシステムでどうすれば、点音源に近づくのでしょうか？

ツイーターの距離や位相特性に車内の定在波や干渉も考えると、これらの環境の中で、ツイーターにどれだけウーファーの倍音成分が乗るにかかっているのではないかと結論づけ、ツイーターに倍音成分が乗りやすい同一素材でシステムを組み、ユニット間の音色を統合するということを目標に素材の選定に入ります。高音に有利な素材か中低音に有効な素材を選ぶかで道は分かれますが、Qrinoはワイドレンジにこだわります。

振動板素材のヤング率とその素材密度の比、すなわち比弾性率の大きな素材で高域共振波数が高いものを理想の素材と考え開発に取り組み、遂にベリリウムとアルミアルマイトの2ラインナップを完成させることができました。

# Qrino



photo:BE-13S

## Beryllium Sound System

Beryllium 素材は、比重が軽くヤング率も大変高いため薄く引き伸ばす事ができます。Qrino 「Beryllium ツイーター」は、厚み 0.025mm の純度 98% を超える素材で、比弾性率も  $14.0\text{m}^2/\text{esc}^2$  と極めて高い性能を誇ります。ハード系振動板の中でも、最も理想的なツイーター振動板素材でありながら、ソフト系素材における最大メリットの軽さにも匹敵します。又ウーファー部振動板の面剛性が不十分だと高音域での分割共振により、高調波歪みが発生しやすく高音域でピーク/ディップがやすくなり、ツイーターに倍音が乗りにくくなります。このため、軽くて薄い肉厚の素材で、十分な剛性をもつ振動板が望まれるわけです。Beryllium ウーファーは、軽くて薄く強いため分割共振も少なく、付帯音の非常に少ない正確な音が得られながらツイーターと同じ音色で奏でます。新開発の「ミュージック・パッシブ」をラインナップに加え、未知のフルベリリウム・サウンドをプロデュースします。



photo:AA-13S

## Alumi Alumite Sound System

アルミ振動板素材に特殊なアルマイト加工を行ない理想に近い振動板素材の開発に成功しました。新開発のアルミ振動膜はヤング率が小さくなり、比弾性率が増加します。密度をあまり増やさずに弾性を大きくする事ができるのが特殊アルミアルマイトの特徴です。特殊アルマイトは、スピーカーの振動膜に相応しい条件を追求した結果、超剛硬アルマイト (HV700) よりも少し柔らかく皮膜厚みも薄めにする事で、音響特性の良い結果を導きました。ネットワークには、ツイーター取り付け位置や車内環境に合わせ、クロス周波数のチューニングが可能な新設計パッシブです。各ダイヤフラムの厚みや特殊処理を専用の設計とし、音響特性で追い込んだ振動板でありながら、コストパフォーマンスに優れた統一素材が更なるサウンドの高みを提案します。





photo:各ケーブル完成品

## ケーブルはオーディオの大切なユニットです。

カーオーディオは、限られたスペースの中での配線取り回しが大変重要です。ケーブルには、高温多湿に振動、乱れた磁場など劣悪な環境で経年変化の少ない安定したクオリティーが求められます。Qrino Cableは、こうした環境下で常識を凌駕する新次元のケーブルです。RCA Cable QR Lineは、素材や形状の吟味が元よりハンダ付け時のこて先温度にもこだわり、今できることを徹底的にやった手作りケーブルで、一人の専任職人が担当します。

**皮膜材はハイフロン フッ素樹脂、温度変化や振動に対応。**  
ケーブルにかかる部分の温度変化や外的振動にも最高のポテンシャルを発揮します。QrinoケーブルはRCAケーブル、スピーカーケーブル共に、耐電圧AC1500Vを1分間耐えます。このオーバースペックが信頼の証です。

**ケーブル導線の太さにおいて、最適なサイズを検証する。**  
太ければ太い程良いと提案する高級ケーブルがありますが、より正確な音を求めていくと、ケーブルの太さやインピーダンスで大きく音質に影響がでるため最適な細さ、サイズがあると云えます。

**ホット側とコールド側で、インピーダンスを合わせる。**  
ケーブルのプラス側マイナス側で、振り線のねじり方向を反転させることにより、正確な音楽信号の伝送が可能となります。又ねじる回数をピッチといい、この回数も音質に直結する重要な要素となります。

### New RCA CABLE QR LINE デュアルハイフロンツイストケーブル

品名	長さ (m)	価格
QR-50	0.5 完成品	¥16,000(税込 ¥16,800)
QR-80	0.8 完成品	¥18,000(税込 ¥18,900)
QR-110	1.1 完成品	¥20,000(税込 ¥21,000)
QR-150	1.5 完成品	¥23,000(税込 ¥24,150)
QR-200	2.0 完成品	¥26,000(税込 ¥27,300)
QR-300	3.0 完成品	¥30,000(税込 ¥31,500)
QR-400	4.0 完成品	¥36,000(税込 ¥37,800)
QR-500	5.0 完成品	¥42,000(税込 ¥44,100)
QR-600	6.0 完成品	¥48,000(税込 ¥50,400)

### New SPEAKER CABLE QS LINE 単線&ハイフロンケーブル

品名	長さ (m)	価格
QS-200	2.0×2本 完成品	¥15,000(税込 ¥15,750)
QS-300	3.0×2本 完成品	¥18,000(税込 ¥18,900)
QS-400	4.0×2本 完成品	¥23,000(税込 ¥24,150)
QS-500	5.0×2本 完成品	¥26,000(税込 ¥27,300)
QS-600	6.0×2本 完成品	¥30,000(税込 ¥31,500)
QS-700	7.0×2本 完成品	¥35,000(税込 ¥36,750)
QS-800	8.0×2本 完成品	¥40,000(税込 ¥42,000)

1.3mm軟銅単線を酸化防止のためスズメッキを施した導線に、表皮皮膜にハイフロンフッ素樹脂を採用し振動や温度のみならず、単線折れにも強い特性を発揮するツイストスピーカーケーブル。

品名	長さ (m)	価格
QS-M50	50mロール	¥81,000(税込 ¥85,050)
QS-M1	m切り売り	¥1,800(税込 ¥1,890)



Photo:speaker Cable Qs Line

## 真空管でしか味わえない世界がある。

ステンレス筐体の真空管パワーアンプQ-6L6の更なる進化。電源部の徹底見直しを行い、販売店毎に行なえるバイアス調整部を簡素化し音響パーツも見直しています。これによりストレスの少ない余裕のあるドライブ力を得ることができました。音楽は演奏者と観客の波動がふれ合い、演奏者の魂がどんどんモチベーションを膨らませ芸術の域まで登りつめるものだと考えます。再生音楽も同じではないでしょうか。音楽に触れ心躍りだす瞬間は、正に至福の時ではないでしょうか。スペックやデータではない音楽のエッセンスを大切に伝えます。



**6L6-Q2 ¥800,000(税込 ¥840,000) 受注生産(納期約40日)**  
車載用真空管パワーアンプ

仕様：サイズ：580×340×113mm  
アイドリング電流：11A  
最大出力：30W×2 (通常表示で90w×2程度)

**真空管：**振動に強く、音質面でも定評ある真空管を吟味しました。初段に6922 (6992・6DJ8) 2段目には、GE社の12BHを採用、ファイナル段は、Electro Harmonix社の6L6EH (5881・7581)。

**電源：**専用の電源12Vを365Vまで昇圧させる心臓部です。部品の厳選は、ハイスピードとノイズ特性にこだわり3年以上の歳月を費やしながら測定器と実際の耳で聞きながら厳選した部品を採用しています。

**筐体：**コストよりも音質を最優先とし、ベース盤に3mm厚のステンレスを採用、フレームは2mm厚で加工しています。ステンレスは、加工性が悪く重量もありますが、重厚感のあるきらびやかな音色が魅力的です。

■価格及び仕様は変更する場合があります。■価格には配送費、取付費などは含まれておりません。■記載されている価格は全て税込価格です。  
■掲載商品の写真の色は印刷の条件等により異なる場合があります。■このカタログの内容は2008年6月現在のものです。



株式会社 オスカーインターナショナル  
〒651-1412 兵庫県西宮市山崎町下山口1丁目-9-24  
TEL : 078-904-3533 FAX : 078-904-3233 MAIL : office@oscar-i.co.jp  
URL : http://www.oscar-i.co.jp/